

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	青色防犯パトロール	分野	防災・防犯
事業概要	① 実施日時又は期間 年間全期間（月～土）一日 2～3 コマ ② 実施場所又は地域 榎本地域全域 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本全地域住民 スタッフ人数：青色防犯パトロール隊員 90 人 ④ 従事予定時間 1 回 2 人×800 回×1 時間 ⑤ 実施内容・方法 榎本小学校児童の登下校時、夕方及び夜間に青色防犯パトロールカーによるパトロールを行う。大阪府警の安まちメールを活用、随時出動を行う。青色防犯パトロール車によるアナウンス活動 ⑥ 広報の内容と方法 広報紙、ホームページ等で地域全体に案内 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校・鶴見警察署		
事業目的及び期待できる効果	ひったくり等の犯罪抑止や交通事故の防止を地域住民自らの力で実現する。町会長、防犯委員、青少年福祉委員、青少年指導委員などを中心に青色防犯パトロール隊員の日常活動の中で地域の結束力を高める。 街頭犯罪の減少、青少年の問題行動の抑止、地域住民の関心の高まり。		
事業効果の検証方法	鶴見警察署による犯罪事故発生件数発表等で検証 青色防犯パトロール隊員の活動日誌や気づき欄、その集約で検証 発生件数の減少を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NP0法人榎本地域活動協議会

事業名：青色防犯パトロール

分野：防災・防犯

支出

(単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
消耗品費	12,000	12,000	18,000	9,000	青パトアサウンス用CD@500円×2、青パト日誌 用バインダー@500円×4、ボールペン@200円× 10本、青パトラップ@7,000円×1個
燃料費(*)	130,000	130,000	195,000	97,500	ガソリン代@130円÷8km/L×8,000km
食糧費	5,760	5,760	8,640	4,320	夏休み巡視お茶@120円×2人×24日
備品修繕料(*)	39,000	39,000	58,500	29,250	法定点検費用@25,000円、タイヤ修理費@2,000 円、オイル交換料@5,000円×2回+工賃@1,000 円×2回
役務費(*)	46,330	46,330	69,495	34,747	自動車保険料
合計	233,090	233,090	349,635	174,817	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

8,000 km (活動距離) - 8,000 km (総距離) × 100 = 100.0 % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	安心安全防犯活動	分野	防災・防犯
事業概要	① 実施日時又は期間 年間全期間（イベント年間約 10 回、その他適時） ② 実施場所又は地域 榎本小学校下を中心にした地域 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 一般地域住民 スタッフ人数：70 人（年間延べ 約 600 人） ④従事予定時間 30 人×1 日×12 ヶ月×1 時間 ⑤実施内容・方法 行事ごとに周辺道路の交通安全対策を展開する。 夏休み期間や年末の夜間見回り、火の用心・防火キャンペーンを行う。 制服、笛、ライトなど装備品の整備、緊急時や災害時のグッズの備蓄、整備を行う。防犯カメラの補修・修繕を行い、初期の性能を維持していく。 ⑥ 広報の内容と方法 ホームページ、広報紙での宣伝を行う。 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 鶴見区役所、鶴見警察署、鶴見消防署		
事業目的及び期待できる効果	地域の安全・安心を自らの責任と力で築いていく 地域行事を参加者の安全を確保していくことで支え、自転車マナーや自動車の安全通行を啓発する。 青少年の健全育成、非行防止を関係団体と協力して取り組み時期毎に必要な取り組みを行うと共に、日常的にまちの巡回を行う。 防犯灯と防犯カメラの設置によって、犯罪の抑止や自転車マナー、自動車の安全通行を啓発する。 また有事の際には積極的に情報を提供し、地域の安心安全に役立てる。		
事業効果の検証方法	交通事故及び犯罪発生件数、場所の分析を関係機関と連携し行っていく。参加者への聞き取りや、経験や生活の知恵を積み重ねていく。 犯罪の発生件数減少を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名：安心安全防犯活動

分野：防災・防犯

支出

(単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
消耗品費	2,400	2,400	3,600	1,800	防犯の日用スタッフお茶2L (10人分) @200円×3本×夏季4ヶ月
	60,000	60,000	90,000	45,000	防災用無線@30,000円×2台
	54,000	54,000	81,000	40,500	防犯カメラ電気代@1ヶ月300円×15台×12ヶ月
備品修繕料	250,000	250,000	375,000	187,500	防犯カメラ修理費@50,000円×5台
合計	366,400	366,400	549,600	274,800	

※青色防犯パトロール活動における活動率 (車両走行距離による)

m (活動距離)

m (総距離)

#DIV/0!

% (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	榎本児童見守り活動	分野	防災・防犯
事業概要	① 実施日時又は期間 年間を通して実施 榎本小学校児童の登下校時 ② 実施場所又は地域 榎本小学校児童の登下校道路、校区内の通行量の多い交差点 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本小学校児童 約 800 人 スタッフ人数：60 人 ④ 従事予定時間 60 人×1 日×12 ヶ月×2 時間 ⑤ 実施内容・方法 登下校道路の要所に見守り活動中と分かるユニフォームでたち、子どもたちへの声掛けを行い、通行人、通行ドライバーに安全を呼びかける。 ⑥ 広報の内容と方法 楽生会（老人会）、PTA を中心に取り組みの案内を行い、協力者を募る。見守り活動自体が目立つ展開を行っているので広報を兼ねることができる。 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校、鶴見警察署、鶴見区役所		
事業目的及び期待できる効果	児童生徒の安全を地域の力で見守り、被害発生を未然に防ぐ。 顔見知りのお年寄りが街角に立つことで子どもたちとのコミュニケーションが日常のものとなる。 自然な声掛けや挨拶が交わせるまちを作っていく。 子どもたちの安全を地域住民自身が担っていることをアピールすることで地域の安心を高め、犯罪のないまちを実現していく。		
事業効果の検証方法	犯罪事故発生件数の分析、参加者に対する聞き取りを行う。子どもたちの受け止めを小学校から聞かせていただく。犯罪の発生件数減少を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名：榎本児童見守り活動

分野：防災・防犯

支出

(単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
消耗品費	54,600	54,600	81,900	40,950	冬用帽子@910円×60枚
合計	54,600	54,600	81,900	40,950	

※青色防犯パトロール活動における活動率 (車両走行距離による)

m (活動距離) m (総距離) × 100 = % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	児童公園管理	分野	環境
事業概要	① 実施日時又は期間 年間を通した公園整備（大規模清掃年間 1 回） ② 実施場所又は地域 榎本地域の児童公園（榎本北公園、阿遅速雄神社横児童公園） ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者：榎本地域住民 スタッフ人数：50 人 ④ 従事予定時間 2 人×2 日×12 ヶ月×2 時間×2 カ所、30 人×1 日×2 時間×2 カ所 ⑤ 実施内容・方法 遊具の塗装や修理の実施。 定期的に清掃、草刈り、危険箇所の点検整備を行う。 ⑥ 広報の内容と方法 参加者を回覧板などで呼びかける。 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 阿遅速雄神社 榎本小学校		
事業目的及び期待できる効果	児童公園を整備、管理して子どもたちの安全な遊び場として提供する。 地域内の児童公園を自らの手で整備、清掃することで、愛着を持ち、マナーの向上と子どもたちの見守りを日常化する。屋外で遊ぶ機会を子どもたちに提供する。まちの景観環境を豊かにする。		
事業効果の検証方法	児童公園維持管理の取り組みへの参加者の意見を集約する。 安全な遊び場を提供できたという意見を全体の 70%を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名：児童公園管理

分野：環境

支出

(単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
備品修繕費	100,000	100,000	150,000	75,000	遊具補修費 (鉄棒修理@100,000円)
役務費	8,070	8,070	12,105	6,052	保険料 (@4,035円×2カ所) 1年間
光熱水費	48,000	48,000	72,000	36,000	電気代@2,000円×2カ所×12ヶ月
消耗品費	12,000	12,000	18,000	9,000	軍手@300円×40袋 (10双入)
食糧費	5,000	5,000	7,500	3,750	夏季スタッフ用お茶@100円×50本
合計	173,070	173,070	259,605	129,802	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

km (活動距離) ÷ km (総距離) × 100 =

#DIV/0!

 % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	街路灯 LED 化	分野	防災・防犯／環境
事業概要	① 実施日時又は期間 年間通じ全期間 ② 実施場所又は地域 榎本地域の街路灯 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象者：榎本地域住民 スタッフ人数：30 人 ④ 従事予定時間 30 人×5 回×2 時間（会議） ⑤ 実施内容・方法 地域内の街路灯の LED 化を 5 カ年計画で進める。（H30 から開始） 1 年間に約 40 基取り替えを実施する。 ⑥ 広報の内容と方法 各町会回覧等によって周知する。 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 鶴見区役所		
事業目的及び期待できる効果	地域内の街路灯の老朽化も進む中、LED 化を進めることで、地域内の整備が必要な街灯の把握ができる。 より寿命が長く電気代の節約にもなる LED を使用することで、各町会の負担を軽減することが出来、夜道の地域住民の安全を確保することが出来る。 保守点検・整備費の削減。消えたままの街灯の把握・整備		
事業効果の検証方法	実施した町会の町会長に聞き取り調査を行う。部会での意見交換も行う。 電気代の節約になり、町会の負担を軽減できたという意見を全体の 70%を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名：街路灯 LED化

分野：防災・防犯／環境

支出 (単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
消耗品費	428,000	428,000	642,000	321,000	LED電球@8000円×40本、取付バンド@1200円×40本、取付金具@1500円×40本
委託料	200,000	200,000	300,000	150,000	工事費@5,000円×40基
役務費	63,200	63,200	94,800	47,400	関電申請料、消費税 (40基分)
合計	691,200	691,200	1,036,800	518,400	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

km (活動距離) ÷ km (総距離) × 100 = #DIV/0! % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	ふれあい喫茶	分野	福祉
事業概要	① 実施日時又は期間 令和 2 年 4 月～3 年 3 月 ② 実施場所又は地域 榎本福祉会館 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 榎本地域を中心に 延べ約 1,100 人 スタッフ人数：のべ約 180 人 ④ 従事予定時間 15 名×11 回（年間）×4 時間 ⑤ 実施内容・方法 榎本福祉会館内でコーヒー・パン 100 円、ゆで卵 20 円などを販売提供し、参加者相互の親睦をはかる。 女性部を中心にしたボランティアスタッフや担当町会による会場設営で自主運営を図り、主催する側の企画運営力を育てている。 ⑥広報の内容と方法 チラシ、ホームページ等で地域全体に案内 ⑦他団体（地活協以外の団体）との連携		
事業目的及び期待できる効果	第 3 日曜日の午前中は榎本福祉会館の「ふれあい喫茶」でコーヒーを飲みながら談笑することを生活の一部となるよう定着させ、地域住民のふれあいの機会を提供する。 高齢者を中心に、家の外に出て地域の中で交流する空間として参加を働きかけ、地域コミュニティの形成や仲間との楽しみを共有して貰う。 参加者の口コミや誘い合いに依って参加者を拡大させる。		
事業効果の検証方法	：参加者に対する聞き取り調査を行う。 たくさんの人と話すことが出来たという人の割合が 70%を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

ふれあい喫茶

分野：福祉

支出

(単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
消耗品費	132,000	132,000	198,000	99,000	材料費@120×100人×11ヶ月
合計	132,000	132,000	198,000	99,000	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

km (活動距離) ÷ km (総距離) × 100 =

#DIV/0!

 % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	高齢者食事サービス	分野	福祉
事業概要	① 実施日時又は期間 令和 2 年 4 月～3 年 3 月 ② 実施場所又は地域 榎本福祉会館 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本地域に住む高齢者独居、高齢者世帯で希望する参加者（延べ約 1430 人） スタッフ人数：150 人 ④ 従事予定時間 15 名×11 回（年間）×4 時間 ⑤ 実施内容・方法 町会を通して参加者を集約し、定例の食事会（榎本福祉会館）に招く。 個人負担 1 回 300 円 毎月保健師による健康指導や健康相談を行い、幼稚園児との交流も行う。 食材は新鮮で安全なものを調達し、季節にあった献立を手作りする。 ⑥ 広報の内容と方法 SNS での活動紹介、各町会長や女性部長による呼びかけ ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 鶴見区役所（保健師の毎回参加） 幼稚園、保育園の園児との交流		
事業目的及び期待できる効果	高齢者の独居、高齢者世帯の孤立化を防ぎ、一緒に食事を取ることを通して地域コミュニティを育んでいく。 保健師の時季にかなったお話や軽易な体操を指導していただき啓発を行う。 幼稚園児の訪問を受け、交流を図る。 季節毎の食材で手作りの食事を提供し、豊かな食環境に資する。		
事業効果の検証方法	参加者の声の聞き取りをきめ細かにを行い、集約していく。 外に出るいい機会になったという人の割合が 70%を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

高齢者食事サービス

分野：福祉

支出

(単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
役務費	63,000	63,000	94,500	47,250	検便@420円×150人分
消耗品費	395,000	395,000	592,500	296,250	材料費@250円×140人×11回、一口鋤物コンロ@ 10,000円×1台
合計	458,000	458,000	687,000	343,500	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

km (活動距離) ÷ km (総距離) × 100 = #DIV/0! % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	子育てサロン	分野	福祉
事業概要	① 実施日時又は期間 令和 2 年 4 月～3 年 3 月 ② 実施場所又は地域 榎本福祉会館 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 榎本校下を中心に乳幼児と保護者 延べ約 600 人 スタッフ人数：50 人 ④ 従事予定時間 10 名×21 回（年間）×3 時間 ⑤ 実施内容・方法 榎本福祉会館内で保健師を交えて子育ての中の母親や子ども同士の交流を図る。子育て相談やおもちゃを使った遊びや体験、体重・身長計による乳幼児の身体測定、人参ゼリー作り。 別に参加母親のおしゃべり会も実施している。 ⑥ 広報の内容と方法 チラシ、ホームページ等で地域全体に案内 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 区内の障がい者支援グループとの連携、鶴見区役所		
事業目的及び期待できる効果	子育て期の親子を孤立させず、地域で支援する仕組みを実体化させる。 新たな地域活動の担い手を掘り起こしていく。 子育てに係る事業所、ボランティア、民生児童委員の連携を常態化し、地域の子育て資源の拡充に資する。		
事業効果の検証方法	参加者(子育て期の親)に聞き取りを行い、調査を行う。 外に出る機会となり、他の母親との交流の場を得られたを 70%を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NP0法人榎本地域活動協議会

子育てサロン

分野：福祉

支出 (単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
役務費	30,900	30,900	46,350	23,175	保険料@30円×30人×21回 クリーニング代じゅうたん@2,900円×2枚、カー ペット@2,900円×1枚・敷きパッド@1,650円×2 枚
消耗品費	19,100	19,100	28,650	14,325	ボールプール@3,500円×1個・水遊びプール@ 4,200円×1個・つり下げ名札@100円×100枚・コ ピー用紙@400円×1個・人参@100円×5本・上白 糖@200円×1袋・寒天パウダー@100円×2箱・ス プレーン@100円×1袋
合計	50,000	50,000	75,000	37,500	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

km (活動距離) ÷ km (総距離) × 100 = #DIV/0! % (小数点第2位以下切り捨て)

18,900
5,500
2,900
3,300
3,500
4,200
10,000
400
500
200
200
100

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	ネットワーク委員会	分野	福祉
事業概要	① 実施日時又は期間 令和 2 年 4 月～3 年 3 月 ② 実施場所又は地域 榎本福祉会館、榎本小学校 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 榎本地域住民を中心に希望者 参加予定者 年間延べ約 600 人 スタッフ人数：50 人 ④ 従事予定時間 10 名×100 回（年間）×2 時間（各サークル活動） 20 名×12 回（年間）×2 時間（各单位町会ネットワーク委員会） 50 名×2 回（年間）×2 時間（ネットワーク全体会） ⑤ 実施内容・方法 要援護者の見守り支援を行う。 男の台所、絵手紙教室、手芸サークル等グループ毎に参加メンバーを募り、自主的な運営を行う。 障がい児童によるグループ「夢舞隊」の活動時間を定例化するとともにふれあいまつりや盆踊りなど地域活動協議会の大きな行事にグループ毎に参加する。 ⑥ 広報の内容と方法 ホームページ上で取組みの紹介を行い、ポスターで参加者を募る。 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校、南部包括支援センター		
事業目的及び期待できる効果	ネットワーク委員会を定期的に開催することで、ふれあい員との情報共有を密にし、要援護者の日常的な見守りにつなげることができる。 サークル活動では、グループ毎に趣味を活かした仲間作りを行う。 男の台所では、中高年男性の食の自立を図り、地域活動参加の契機とする。 高齢者を中心とした参加で、世代の広がり豊かな人間関係の促進を図る。 仲間を通じた相互の支え合いを参加者の中に根付かせていく。		
事業効果の検証方法	ネットワーク委員会で振り返りを行い、見守り意識が向上した委員の割合 50%以上を目指す。 見守り参加者への聞き取りによる調査を行う。 外に出る機会が増え、仲間作りのきっかけになった、70%を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名： NPO法人榎本地域活動協議会

ネットワーク委員会

分野： 福祉

支出 (単位：円)

項目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内訳
報償費	50,000	50,000	75,000	37,500	絵手紙講師料@5,000円×10回
消耗品費	120,000	120,000	180,000	90,000	ふれあいネット事務用品費@30,000円、男の台所 材料費@250円×10人×12回、手芸サークル材料費 @250円×20人×10回、夢舞隊衣装小物@10,000円
会費	20,000	20,000	30,000	15,000	夢舞隊大会エントリー代@20,000円×1回
合計	190,000	190,000	285,000	142,500	

※青色防犯パトロール活動における活動率(車両走行距離による)

km (活動距離) ÷ km (総距離) × 100 = #DIV/0! % (小数点第2位以下切り捨て)

事業計画書

2 年度

NPO 法人榎本地域活動協議会

補助事業名	広報(榎本ふれあい通信・ホームページ)	分野	広報
事業概要	① 実施日時又は期間 令和 2 年 4 月～3 年 3 月 ② 実施場所又は地域 榎本全地域 ③ 対象者、参加予定人数、スタッフ人数 対象 榎本小学校下全戸配布、地域内事業所、学校等へも配布 印刷部数 9000 部 スタッフ人数：10 人 ④ 従事予定時間 10 名×16 回（年間）×2 時間（会議） 10 名×約 20 回（年間）×6 時間（行事） ⑤ 実施内容・方法 広報委員会を中心に各地活協関係団体に窓口を置き、情報提供を双方向で行い、榎本小学校下の情報を中心に情報提供を行う。 町会の回覧板配布ルートに榎本ふれあい通信をのせ、全戸配布する。年間 定期号 4 号 号外 1 号 ホームページを開き、ブログ、フェイスブック、ツイッター、LINE@を組み合わせ活用した ICT 情報をインターネット上に配信する。身近な出来事を取り上げ、お知らせと啓発を丁寧に行う。イベントポスター・チラシ作成。 ⑥ 広報の内容と方法 ふれあい通信の全戸配布とインターネット活用 ⑦ 他団体（地活協以外の団体）との連携 榎本小学校		
事業目的及び期待できる効果	地域活動の動脈として情報の双方向性を実現する。情報の流し方が中央管理的な一方的なものでなく、地活協各団体の窓口を通した発信を受け止め、みんなで作る広報、ホームページを目指す。 榎本地域活動協議会の認知度を高め、支援の幅を広げると共に地域内の資源の掘り起こしを目指す。地域の情報を交流し、相互の情報を共有できる。新たな参加者や担い手を結べる。		
事業効果の検証方法	ホームページ閲覧回数カウンターやフェイスブックの閲覧、話題にした人、いいねのカウンター数増加を目指す。		

2年度

補助事業支出予算書 (活動費補助金事業別)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

事業名：広報 (榎本ふれあい通信・ホームページ) 分野：広報

支出 (単位：円)

項 目	全体事業予算額	うち補助対象 予算額	みなし人件費含 補助対象予算額	うち 補助金額	内 訳
消耗品費	88,000	88,000	132,000	66,000	・大判プリンター用消耗品 (ロール紙30m@ 18,000円×2本、インク@10,400円×5本)
印刷製本費	225,000	225,000	337,500	168,750	・ふれあい通信@5円×9,000部×(4回+号外1 回)
役務費	1,000	1,000	1,500	750	ドメイン登録料 (1年分)
委託料	600,000	600,000	900,000	450,000	HP管理料 (1年分)
合 計	914,000	914,000	1,371,000	685,500	

※青色防犯パトロール活動における活動率 (車両走行距離による) $\frac{\text{km (活動距離)}}{\text{km (総距離)}} \times 100 = \frac{\text{\#DIV/0!}}{\text{\#DIV/0!}} \%$ (小数点第2位以下切り捨て)

2年度

補助事業支出予算書 (運営費補助金)

団体名：NPO法人榎本地域活動協議会

支出 (単位：円)

項 目	補助対象 予算額	うち補助金	内 訳
報酬	2,035,968	1,009,255	地活協事務局人件費@964円×8時間×20日×12ヶ月×1人、 @964円×4時間×4日×12ヶ月×1人
光熱水費	1,270,000	0	榎本福祉会館 管理費 電気@1,130,000円 ガス@30,000円 水道@110,000円
役務費	500,000	0	雇用保険・労災保険等@340,000円 通信費 (NTT西日本) @ 160,000円
合 計	3,805,968	1,009,255	